

生きている幸せを感じて

11月26日(月)、片岡中学校で、被災地のボランティアを熱心に行っている団体「風車」代表の渡辺英子さんの講演会が行われました。渡辺さんからは、ボランティアを通じて感じた、生きていることへの感謝の気持ちや被災地の方との触れ合いを通じて生まれた心の交流の大切さなどを話してくれました。話しに聞き入る中学生の真剣なまなざしがとても印象的でした。



創年大学を無事卒業！

12月1日(土)、文化会館小ホールで、ふるさと創年大学講座の卒業記念講演会が行われました。この日は、歌手の綾乃ひびきさんを講師に迎え、「美しいふるさと、大切にしたい日本語・歌」と題した講演が行われました。「矢板には、まだまだ美しい景色が残されている。それを皆で守っていかなくてはならない。」と参加者は、ふるさとへの思いを再確認している様子でした。



認知症への理解を

11月28日(水)、生涯学習館で「認知症サポーター養成講座」が開催されました。この講座は、一般の市民の方、市の関係者など39人の方が参加しました。認知症の基礎的な知識、予防法、なってしまった方へのケアを学びました。認知症と向き合うには「人格を尊重し、温かく見守る姿勢」がとても大切です。参加者には、認知症サポーターの証である、オレンジリングが配られました。



河川をきれいにしたい

11月16日(金)、河川愛護ポスターコンクールにおいて、県道路河川愛護連合会長賞を受賞した、矢板中学校2年の中島七海さんが、市長を表敬訪問しました。このコンクールには、県内の小、中、高校から1320点の応募があったとのこと。中島さんのポスターのように、ゴミの無いきれいな河川をみんなで目指していきましょう。



駅前を彩るイルミネーションが点灯！

矢板駅前 13日(日)まで・片岡駅前 15日(火)まで



矢板駅前

11月30日(金)、矢板駅前、12月1日(土)、片岡駅前、イルミネーションの点灯式が行われました。冬の風物詩となったこのイルミネーションには、市内外から多くの人々が訪れ、点灯の瞬間には歓声があがりました。

矢板駅前では、昨年に引き続き、東京スカイツリーをモチーフにしたものや相合傘の形のものが幹の根元に飾られました。

また、片岡駅前では、ブルーの光で飾られたイルミネーションを囲み、歌手の篠原宣義さんのコンサートが行われました。

どちらも多くの人で賑わっていました。

是非、皆さん一度足をお運びください。



片岡駅前

そばを味わい尽くす

12月1日(土)、農村環境改善センターで、そばオーナーによる「そば打ち講習会」が行われました。種まき、収穫を含めた全3回のコースで行われているこのオーナー制度には、県内から31人が参加しています。最終日となるこの日は、講師になった地元のそば打ち名人から、そばの打ち方を熱心に習っていました。その後は、講師が作ったそばを皆で試食。オーナーからは、「矢板のそばはおいしい」「大晦日には自分で打ってみよう」などの声が聞かれました。

